

平成 22 年度事業計画書

I. 事業の状況

① 研究発表会、講演会等の開催（定款 5 条 1 号）

- ・ 第 1 回総会を下記のとおり行う。
日時 平成 22 年 5 月 30 日
場所 日本大学 参加予定者数 110 名
- ・ 第 2 回総会を下記のとおり行う。
日時 平成 23 年 3 月 28 日
場所 明治大学 参加予定者数 110 名
- ・ 秋季学術大会を下記のとおり行う。
日時 平成 22 年 10 月 2 日～10 月 4 日
場所 名古屋大学 参加予定者数 600 名 演題予定数 130 件
- ・ 春季学術大会を下記のとおり行う。
日時 平成 23 年 3 月 29 日～3 月 31 日
場所 明治大学 参加予定者数 900 名 演題予定数 250 件
- ・ 研究集会（日本地球惑星科学連合 2010 年大会で、主催セッション：「Global Land Project と地球惑星科学（国際セッション）」、「モンスーンアジアのフードと風土」、「商品化する日本の農村空間」、共催セッション：「人間環境と災害リスク」、「都市化と地球環境変化（国際セッション）」、「環境リモートセンシングーアジアの発展と環境変化ー（国際セッション）」、「地球環境観測データの行方および未来」）を下記のとおり行う。
日時 平成 22 年 5 月 23～28 日
場所 千葉県幕張メッセ国際会議場 参加予定者数 400 名 演題予定数 136 件
- ・ 公開シンポジウム（G 空間 EXPO）を下記の通り行う。
日時 平成 22 年 9 月 20 日
場所 パシフィコ横浜 参加予定者数 100 名 演題予定数 5 件
- ・ 地理教育公開講座を下記の通り行う。
(1) 日時 平成 22 年 10 月 2 日～10 月 3 日
場所 名古屋大学 参加予定者数 150 名 演題予定数 8 件
(2) 日時 平成 23 年 3 月 29 日～3 月 30 日
場所 明治大学 参加予定者数 150 名 演題予定数 8 件

② 学会誌その他の刊行物の発行（定款 5 条 2 号）

- ・ 学会誌「地理学評論（Geographical Review of Japan Series A）」（冊子体）を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号	発行予定部数
平成 22 年 5 月 1 日	83	3	3,500 部
平成 22 年 7 月 1 日	83	4	3,500 部
平成 22 年 9 月 1 日	83	5	3,500 部
平成 22 年 11 月 1 日	83	6	3,500 部
平成 23 年 1 月 1 日	84	1	3,500 部
平成 23 年 3 月 1 日	84	2	3,500 部

- ・ 学会誌「Geographical Review of Japan Series B」（オンライン版）を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号
平成 22 年 6 月 1 日	83	1
平成 22 年 12 月 1 日	83	2

- ・ オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号
平成 22 年 9 月 30 日	5	2
平成 23 年 3 月 31 日	6	1

- ・「日本地理学会発表要旨集」を下記の通り発行する。

発行年月日	号	発行予定部数
平成 22 年 9 月 10 日	78	900 部
平成 23 年 3 月 10 日	79	1,200 部

③ 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 5 条 3 号）

- ・ 2010 年度日本地理学会賞を下記のとおり表彰する。

優秀論文部門（若干名）
 若手奨励部門（若干名）
 論文発信部門（若干名）
 優秀著作部門（若干名）
 著作発信部門（若干名）
 地理教育部門（若干名）
 学術貢献部門（若干名）
 団体貢献部門（若干名）

受賞者は日本地理学会賞受賞候補者選考委員会の推薦により理事会が決定する。

④ 関連学術団体との連絡及び協力（定款 5 条 4 号）

- ・ 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務める。
- ・ 地理学連携機構に加盟し、代表を送る。
- ・ 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送る。また、関連する委員会に必要な応じて委員を送る。
- ・ 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会に加盟し、代表委員を送る。
- ・ 自然史学会連合に加盟し、代表を送る。
- ・ 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送る。
- ・ 関連他学協会・団体が主催する事業で本学会の趣旨に添うものを適宜後援する。

⑤ 国際的な研究協力の推進（定款 5 条 5 号）

- ・ 2013 年 8 月 4～9 日に京都で開催予定の国際地理学会地域大会（Regional Conference of the International Geographical Union）に向けて、日本学術会議地球惑星科学委員会 IGU 分科会および同大会準備委員会と連携して開催準備を行う。
- ・ 2010 年 11 月 7 日～10 日に東北大学で開催予定の第 5 回日韓中地理学会議を、中国地理学会・大韓地理学会と共催する。

⑥ その他目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）

- ・ 社会一般における GIS 利用の啓発・普及を進めることによって社会に貢献するために、GIS 学術士資格を認定する。
- ・ 社会一般における地理学知識・技術の普及・利用を促進することによって社会に貢献するために、地域調査士資格を認定する。
- ・ 科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会を共催し、地理学の普及につとめる。